

シラバス

授業のタイトル(科目名) 精神保健福祉援助実習Ⅱ		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)		授業担当者 平川 泰士
授業の回数 5日	時間数(単位数) 40時間(1単位)	配当学年・時期 4学年2学期	必修・選択 選択	
【授業の目的・ねらい・到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉援助並びに障害者等の相談援助に係る専門的知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得する。 ・精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について把握する。 ・精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に判断できる能力を習得する。 ・総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方及び具体的内容を実践的に理解する。 				
【授業計画】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における障害福祉サービス事業所等において実習を行う学生は、患者への個別支援を経験するとともに、次に掲げる事項を経験し、実習先の実習指導者による指導を受ける。 <ol style="list-style-type: none"> ①利用者の地域における日常生活の理解 ②障害福祉サービス事業所等利用における利用者及びその家族への相談援助 ③患者または家族への多職種連携や事業所外の関係機関との連携を通じたソーシャルワーク 2. 学生は、地域における障害福祉サービス事業所等の実習を通して、次に掲げる事項をできる限り経験し、実習先の実習指導者による指導を受けるものとする。 <ol style="list-style-type: none"> ①患者・利用者やその関係者、施設・機関・事業者・団体住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成 ②患者・利用者の理解と支援ニーズの把握及び支援計画の作成 ③患者・利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との支援関係の形成 ④患者・利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護及び支援(エンパワーメントを含む。)とその評価 ⑤精神医療・保健・福祉に係る多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実践 ⑥精神保健福祉士としての職業倫理と法的義務への理解と考察、遵守 ⑦精神科病院等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解、遵守 ⑧地域における障害福祉サービス事業所等の経営やサービスの管理運営の実践 ⑨地域における障害福祉サービス事業所等が地域社会の中の施設・機関・事業者・団体等であることへの理解と具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関する理解 ⑩実習体験・学習成果の考察と記述・プレゼンテーションの実践、精神保健福祉士としての学習課題を明確化し研鑽のための計画立案と実施 3. 実習指導担当教員は、巡回指導等を通して、実習事項について学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。 				
【使用テキスト・参考文献】			【単位認定の方法及び基準】 <p>実習指導者による評価(30%)、実習報告書・事例検討報告書等による評価(30%)、専門職業人としての成熟度(40%)を総合し評価</p>	